

群馬県 高山村議会

(事績1) 政策づくりと監視機能を十分発揮している議会

(1) 議員の資質向上に向けた取組

高山村議会では、議員のありかた、資質向上を図るため、群馬県町村議会議長会主催の各種研修等に積極的に参加している。

(2) 議員同士の自由な討議

高山村議会では常に活発な議論が展開されており、世代の垣根を取り払った自由な討議が実施出来るよう努めるとともに、執行部に対する監視体制の強化に努めている。令和7年6月定例会では、活発な討議の結果、提出された一般会計補正予算議案に対する修正動議の提出がなされた。

(3) 専門分野に関する視察研修の実施

2つの常任委員会において、コロナ禍により数年休止していた視察研修を令和5年度より再開した。令和5年度においては総務文教常任委員会並びに農林建設常任委員会合同により、高山村でも課題となっている庁舎問題・公民連携について、岩手県紫波町、羊の放牧・羊の肉及び羊毛の活用等について、秋田県藤里町を訪問し、視察研修を実施した。令和6年度においては、農林建設常任委員会において、農業を基幹産業とする高山村において、担い手不足対策・ふるさと納税等について、山梨県北都留郡丹波山村を訪問し視察研修を実施した。今後も高山村の課題解決に向け、参考となる機関への視察研修を実施していく予定である。

(事績2) 住民に開かれた議会

(1) 主権者教育の推進

議会の仕組みや運営方法を理解してもらうとともに、中学生の率直な要望・意見を聞き、今後の村政運営に役立てるため、中学校と協力し社会科公民の授業の一環として「中学3年生議会傍聴」を実施している。本年度は6月定例会を中学3年生19名が最終日の議案に対する質疑を傍聴し、高山村の現状把握・課題・対策などを見学することにより、高山村への理解と愛情を深めるとても良い機会となっている。後日、中学3年生全員より傍聴の感想をいただき議会広報へ掲載し、村民皆様への議会活動PRの一

助となっている。

行政と中学生の貴重な意見交換の場であるため、今後とも実施していきたい。

(2) 議会日程の周知及び広報誌の作成について

高山村のホームページにおいて、議会の日程、一般質問の項目、本会議の議事録、議会広報誌を掲載し、議会活動の周知を図っている。議会広報では令和5年より新たな組織編成となり、「皆に手に取って読んでもらえる広報誌でなければ意味がない」を共通認識とし、誌面改革に取り組んでいる。令和6年度には群馬県広報クリニックを受け、スキルアップを図り、議員自ら取材に赴き、村民や関係者の写真やコメントを載せるよう努力している。令和7年度においては、町村議会全国コンクールへの応募も行った。最近では村民からの評判も良く、更なる向上を目指す。

(事績3) 議員のなり手不足に真摯に向き合いその対策を講じている議会

(1) 議会のデジタル化の推進

令和3年8月、議場の音響設備を更新した。今後は本会議の映像配信等設備の導入を検討したい。

令和に入り、DXの推進が本格化してきた中、高山村議会においても議案書等のペーパーレス化の検討が始まった。議論を重ね、タブレット化に難色を示していた議員各位においても、時代の流れを受け入れていただき、令和6年度当初予算において『議会DX活用事業』を予算化し、令和6年5月、ついにタブレットを購入、ペーパーレス、タブレット化を実施し、議案書等データを議会文書共有システムを使用して閲覧が可能となった。タブレット等操作研修会の実施に当たっては、全議員率先して参加していただき、熱心に操作説明を受けられ、操作知識を身につけ、ペーパーレス化にご協力いただいた。

(2) 議員の報酬等の検討

全国的に問題となっている議員のなり手不足について、高山村においても例外ではなく将来にわたる重要な課題であるにとらえ議論を重ねている。

議員報酬においては、議員活動のさらなる活発化、議員の士気や経済基盤を向上させるため、増額の必要性等の検討を行っている。この問題は継続して議論すべきと思われる。